

まちづくり ニュース

ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

278号

2025年4月29日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 危険な緊急着陸

4月23日未明3時38分(UTC22日18:38)頃、ユナイテッド航空3921便(香港発ホノルル行きB777貨物機)が羽田新ルートA滑走路に緊急着陸したという事件がありました。

エンジントラブルによる緊急事態でやむを得なかったとはいえ、この大都会東京の上空を事故機が低空で通るといのは恐怖以外の何ものでもありません。この新ルートではなく、旧ルートの海上からの緊急着陸ができなかったのでしょうか。

あってはならないはずの都心低空飛行も何年も慣らされてしまうと、その危険性に対する感受性も鈍くなっているようで心配です。

○ 自転車利用の増加 原因と対策

今はきれいになりましたが、以前は駅前ロータリーに自転車が多数止めてあり、整理員が複数いて並べ替えたりしていました。

自転車がそれほど多くなったのは、前野町などの工場跡地に無制限にマンションを建てた結果、自転車でときわ台駅に来る利用者が増えたのだと思われます。

考えると東上線と都営三田線がほぼ平行して板橋区の主要な交通となっていますが、二つを結ぶ交通手段が不十分なのです。どこかのメグリンのような低額の循環バスを走らせれば、歩行者にも自転車利用者にも歓迎されるのではないのでしょうか。

まずは自転車駐輪場を三井銀行裏の買い上げなど駅近くに探す努力をして欲しい、同時に循環バスなどの検討も進めて欲しいと思います。

○ 駐輪場の問題と旧中央図書館

かつて常盤台小学校と旧図書館の間の並木沿いの道の片側は、暫定と言いつつ30年以上も区が駐輪場を設けていました。

景観を守る会が何度も交渉して住友銀行裏側の岡田病院跡を借り上げることでやっと撤去されたのです。豊島区で駐輪問題の解決に当たった人も応援してくれて、最後は駐輪場専門の業者に調査・提案して貰いました。そうまでしないと板橋区は動かなかったのです。同時に不法駐輪の撤去も毎日するようになり、ロータリーを占拠していた自転車群もなくなり、今は小学校側も駅前もきれいになっています。

ところがときわ台駅周辺に現在4カ所駐輪場がありますが、その中の1カ所から契約解除の申し込みがあるとかで、約300~400台を収容できる駐輪場を探さねばならないと言う問題が持ち上がりました。

区が一番手っ取り早い、旧中央図書館の跡地に目を付けています。

○ 旧図書館跡地は？

景観を守る会は、常盤台在住の演奏家と一緒に、公園でありながら住宅地の中でもあるあの場所に、板橋区として文化的なものを建てて欲しいと、音楽ホールの建設を陳情しました。しかしあの場所はいつの間にか公園敷地から切り離され、第一種住専地区になっていて、音楽ホールは用途地域によって認められないとされたのです。

しかし板橋区の音楽施設の貧弱さを知っている音楽家や住民有志は諦めず、ホールがダメなら多目的ホール(図書の返還施設などを併設)という案を提出しようとしています。

タワマンの問題 (続き)

* 「まちづくり」か「まちこわし」か

タワマンは上に伸びて街を作ろうとしていて考えることができます。一、二階は賑わいを求めて商店にするでしょう。エレベーターの乗り換えを避けて事務所系は上階には集まらないので、殆どが分譲住宅として販売されています。

飛び抜けて高い建物は街並みという配慮はありません。そこだけ新しい人達が住み、新しい居住地を作りあげるのです。元々あった商店は高い賃料や維持費に耐えられず結局は移転せざるを得ないようです。だから昔からの馴染みの店はいなくなります。お客が増えるからと思っているとんでもない誤算になるでしょう。

果たしてタワマンは新しい街を形成できるのでしょうか。分譲したマンションの購入者や資産形成のため賃貸に出した人は儲かるのでしょうか。

今都内では億ションが多いそうですが、港区あたりでのタワマンには買い手が付くでしょうが、板橋区ではどうでしょう。大山のタワマンも売れていないと聞きます。この区はやはり都心を離れた緑多い住宅地が魅力ではないでしょうか。まちづくりと言いつつ「街こわし」にならないように注意しなければなりません。

野良ネコは減っています

YさんたちのTNRの活動が効を奏したのか、一丁目の野良ネコは殆どいなくなりました。大量に捕獲した事も原因らしいし、最近越してきた方が母猫と仔猫二匹を捕まえてそれぞれ飼い主を見つけてくれたという嬉しいニュースがありました。

二丁目にはまだちらほら野良ネコを見かけます。また、ハクビシンは勿論ですが、タヌキもまだまだ常盤台が気に入っているようです。

まちづくり協議会の動向

第二回のアンケートは回収一七〇名程度だったそうです。前回は小学生・中学生にもアンケートを求めたそうですが、まちづくりに関して上位三つは大人も子供も順位は違っても同じだったそうです。

前回、地域センターの和室では、傍聴者は畳の上を設置されており、高齢者や足の悪い人が多いので会議室から折りたたみ椅子を持って来て貰いました。傍聴する区民へも配慮がほしいものです。

今回、司会の意図は広くまちづくりという観点から進めていきたいのに、町会長達の側からは踏切の立体化の問題にしぼってほしいという本音が聞かれました。

この協議会の目指すところが何なのか、大山や上板橋の協議会の動向を参考に、私たちは注目しています。

常盤台公園のはなづくり

公園の花壇が一年中で一番にぎやかです。パンジー・ビオラ・チューリップ・スイートアリッサム・金魚草・ノースポールなどが一斉に花盛りとなっています。

あちこちの花壇が密植状態にして、植えて直ぐで見栄えを良くしているようですが、私たちは大きく育つ余地を残して間隔をとって植えています。それでも四月にはぎっしり育って盛り上がるようになります。植えた後の管理次第だと思います。

今年は角の花壇のクリスマスローズが少し寂しくなりました。原因は解りませんが、Tさんが欠けたことも影響しているのかも知れません。

ハナミズキが満開になっています。ツツジも咲き出していますし、バラまで蕾が膨らみ始めています。

なんだか季節がどんどん前倒しになってきて、丁度良い気候の期間が短くなり、厳しい暑さや寒さの日々が増えて来たように思います。地球が狂ってきたような嫌な予感です。

地球上で戦争が止むこと無く、人間が容赦なく同類を殺すのであれば、やがて核戦争で地球の生命体は滅亡するのでしょうか。美しい花々を眺めながら、つい悲観的なことを考えてしまいます。

